

施策マネジメントシート(平成25年度の振り返り、総括)

作成日 平成 26 年 6 月 20 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	子育て健康課
				課長	上田 宜実
施策	3	子育て支援の充実	関係課	教育課(生涯学習推進)	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町内の子ども ②保護者・子どもを授かるうとする夫婦	①心身ともに健やかに育つ。 ②安心して子どもを産み、育てられる。	基本事業	1 子どもの健康増進	町内の子ども
2 子どもの発達支援				町内の子ども	社会性が育つ。
3 子育ての精神的負担の軽減				保護者・子どもを授かるうとする夫婦	子育ての精神的な負担が軽減される。
4 子育ての経済的負担の軽減				保護者・子どもを授かるうとする夫婦	子育ての経済的な負担が軽減される。
5 子育てと仕事の両立				保護者・子どもを授かるうとする夫婦	子育てと仕事を両立できる。

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じる保護者の割合	%	実績値	88.1	92.8	89.0			
			目標値		88.4	88.7	89.0	89.3	89.6	90.0
B	定期健診受診率(1歳6か月児/3歳児)	%	実績値	94.1/98.3	94.3/88.7	91.3/88.4				
			目標値		94.5/92.0	96.3/93.8	96.3/93.8	96.3/93.8	96.3/93.8	96.3/93.8
C	子育て支援団体数、会員数	団体、人	実績値	2/34	3/49	4/44				
			目標値		3/54	4/60	4/60	5/70	5/70	5/70
D	第1希望の保育所に入所できなかった乳幼児数	人	実績値	8	12	21				
			目標値		10	10	10	0	0	0
E	出生数 合計特殊出生率	人	実績値	104/1.27	92/1.23	105/ .				
			目標値		100/1.27	96/1.31	92/1.35	88/1.40	84/1.44	80/1.48
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。町民アンケートにより把握(18歳未満のお子さんがある方が対象)
 ※自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合。
 B) 定期健診の受診率が安定して高ければ、早期の発達支援に繋がると考え成果指標とした。主管課が把握
 C) 保護者と子どもが利用しやすい環境を構築すれば、子育ての負担軽減に繋がると考え成果指標とした。会員数とはスタッフ数のこと。主管課が把握
 D) 数値が低くなれば、安心して子どもを産み育てられるようになっていえるため成果指標とした。主管課が把握
 E) 数値が高まれば、安心して子どもを産み育てられるようになっていえるため成果指標とした。人口動態統計による※1月～12月の数値(出生数の速報値6月中旬発表、合計特殊出生率は9月発表)

目標値設定の考え方

A) 平成23年度数値を未就学児がいる世帯に限り算出すると93.1%であり、過去4年間の数値はほぼ横ばいといえる。そのため成り行き値は平成23年度数値の88.1%で推移。すでに高い数値であり、今後大幅に増加させることは困難と考えるが、子育て支援サービスを充実させるなどして平成29年度90%をめざす。
 B) 成り行き値は、対象人数が少なく実績にばらつきがあり、数値が見込みにくいため実績の平均値で設定。目標値は、利根沼田平均の水準である成り行き値2%増の維持を目標とする。【県平均:93.7%/92.1%(H23)、利根沼田平均:96.4%/93.9%(H23)】
 C) 団体数・会員数は増加しており子育て支援の拠点が広がっている。平成24年度に1団体増えたことで、成り行きでは3団体54人で推移。平成25年度に水上地区に1カ所開設予定、更に保護者が利用しやすい身近な距離にある拠点を開設する必要があるが、平成29年度5団体70人以上をめざす。
 D) 入所できない実績値は月夜野保育園を第1希望とする児である。今後とも月夜野地区の保育の需要集中が継続することが想定されるため、成り行きでは10人で設定する。平成27年度までに施設の整備計画を実現させ第1希望の保育所に入所できるよう改善をめざす。
 E) 国勢調査等の数値から判断して、成り行きでは毎年5人づつ減少で推移。減少人数を毎年4人に抑制し、平成29年度80人以上をめざす。子どもを産み育てる両親が実感できる子育て支援策を実現し、合計特殊出生率は利根沼田平均値1.48をめざす。【国平均:1.39(H23)、県平均:1.41(H23)、利根沼田平均:1.48(H23)】

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①子育てについての不安解消、情報交換、ストレス解消等ができる仲間づくりを積極的に進める。 ②基本的な生活習慣や規範を身につけさせたり、定期健診や予防接種などを受けさせるなど、親としての責任・義務を認識して子育てに取り組む。 ③子どもたちに声をかけたり、子どもを育成する活動に参加したり、子どもを見守る活動に協力するなど、地域で子育て支援に関わる。	①定期健診や予防接種など健康増進を実施する。 ②地域社会が子育てをあたたく見守る体制の基礎をつくる。 ③保護者への経済的な支援を行う。 ④子育てと仕事の両立を支援する。 ⑤悩みごと相談など、すべての親がゆとりを持ち、安心して子育てできる環境をつくる。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①子ども・子育て支援新制度について、平成27年度から本格施行が予定されているが、保育園、幼稚園の保育料改定や給付費・交付金管理等に伴うシステムの導入は、この新制度が消費税率引き上げによる財源を確保することが条件であり、税率改正の動向により施行年度が遅れる可能性がある。 ②対象者(子ども)が出生人数で見るとH25ではH24より13人多かったが、長期的に見ると年々減少している。 ③インターネットや携帯電話・スマートホンの普及など、青少年を取り巻く環境が急激に変化している。(情報の入手が容易、悪影響を与えるものが増加)	①子育て支援に対する要望が増えている。また、病後児保育やファミリーサポートなど、保育ニーズの多様化に対応できる質の高い保育体制が求められている。 ②少子化のため近所に友達が少ない状況であり、地域子育て支援センターのような親子で集まれる場所や気楽に相談できる場が求められている。 ※町民アンケートによると、出産や子育てに対する不安の具体的内容は、①経済的な負担81.4%②自分の体力や精神的負担29.3%③育児と仕事の両立44.3%となっている。また、自由記述欄には、子どもの遊び場整備、保育施設・内容の充実、生活支援の充実などを求める意見がある。

施策	3	子育て支援の充実	主管課	名称	子育て健康課
				課長	上田 宜実

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>①自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じている保護者の割合は、平成25年度92.8%から平成26年度89.0%と下降しているが、依然として比較的高い水準にある。地区別にみると、月夜野地区で高い割合(89.2%)となっているが、学童保育施設の増設、月夜野幼稚園の預かり保育が利用できることなどが要因と考えられる。</p> <p>②出産や子育てに不安を感じている保護者等の割合が、平成25年度66.7%から平成26年度67.3%と0.6ポイントの増加にとどまっている。景気の上昇が感じられず、また就労環境の改善が進展していないことなどが要因として考えられる。地区別にみると、月夜野地区69.0%、水上地区52.8%、新治地区75.9%と、新治地区で高い割合となっている。</p> <p>③出生数は平成24年度92人、平成25年度105人と13人増加し、出生率は平成23年度5.0%、平成24年度4.5%と減少となっている。また、合計特殊出生率については平成23年度1.27から平成24年度1.23に下降しており、依然として晩婚化や未婚化の進展が大きな要因と考えられる。</p>
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>①平成24年の1歳6か月児健診受診率は、全国94.8%、県94.5%、本町94.3%であり、近隣市町村では、沼田市96.2%、片品村95.8%、川場村96.2%、昭和村96.3%であった。3歳児健診受診率は、全国92.8%、県94.2%、本町88.7%であり、近隣市町村では、沼田市98.3%、片品村100%、川場村100%、昭和村98.3%であった。近隣市町村に、健診未受診者対策について確認したところ、受診勧奨のための電話連絡や再通知を送るなど、本町での取り組みと同様であった。</p> <p>②平成24年の出生率は、全国8.2%、県7.6%、本町4.5%で県内35市町村中32位となっており、下位に位置する。近隣市町村では、沼田市6.8%、片品村5.5%、川場村6.9%、昭和村7.1%となっている。</p> <p>③平成24年の合計特殊出生率は全国1.41、県1.39、本町1.23で県内35市町村中30位となっており、下位に位置する。近隣市町村では、沼田市1.49、片品1.87、川場1.73、昭和1.27となっている。</p> <p>④沼田市や昭和村でも子育て支援センターは存在するが、みなかみ町は施設・設備・スタッフ・支援内容が充実しているため、町外からの利用者が増加している(全体の約1割)。これは、利用者の声を直接反映しているためである。</p>
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	<p>①自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じている保護者の割合は、目標値88.7%に対して実績値は92.8%と上回った。要因として、子どもの発育・発達を支援する相談会や教室の充実、保護者の経済的軽減を図る入学支援金、出産祝金制度が充実していること。また、国の支援策である児童手当制度が将来的にも持続されると感じる人が増えたことなどが考えられる。</p> <p>②定期健診は、1歳6か月児と3歳児健診受診率ともに目標値を下回っている。本町での受診率が低い理由として、本町に住所を有する外国人が、健診時期に日本に居住していないため、健診に来られないことが理由の一つと考えられる。3歳児の場合、親の育児期間が終了しているため、保護者が仕事を休めないなどの理由で来られないことも考えられる。</p> <p>③子育て支援団体数は、目標どおり平成25年4月から水上地区を拠点に1箇所が開設された。また、会員(スタッフ)は目標値より16名下回っているが運営上には問題はないと考えられる。</p> <p>④第1希望に入所できない児童数の実績値は21人、目標値10人に対して11名多かったが、月夜野保育園希望者の3歳未満児が多数である。就労により3歳未満児から保育が必要になる家庭が増加しているのが要因と思われる。※水上地区でもわかくりこども園が受け入れができなかった。</p>
成果実績に対する総括	<p>①にいほるこども園2階に開設している常設の子育てひろば「汽車ポッポ」において、子育てについての相談や援助を行い親子の交流の場を提供。また、月1回保健師のミニ講座を開催。年間利用者数は、平成23年度7,769人、平成24年度7,776人、平成25年度8,864人と増加している。</p> <p>②不妊治療助成事業については、平成25年度では7件の補助を行った。うち3件の妊娠が報告されている。</p> <p>③平成25年度にファミリーサポートセンターを開設し、まかせて・どっちも会員20名・お願い会員24人の登録があった。</p> <p>④ママヨガ教室は、上の子の保育ができるよう、平成24年度からみなかみ町地域子育て支援センターに会場を移動し、参加し易いよう別の事業の共催事業として開催した。(年間延べ参加人数 平成24年度 妊婦36人、産婦84人 平成25年度 妊婦39人、産婦103人)</p> <p>⑤平成25年度にNPO法人「喜童愛楽」が子育てひろばを小日向地区に開設した。</p> <p>⑥子育て世代の定住化を促進する目的で平成24年12月から子育て家庭住宅新築補助金制度を開始。平成25年度は15件の申請があり10件の方が新築された。残りの5件は繰越された。</p> <p>⑦食育推進事業として小学4～6年生を対象としたキッズクッキング教室や小学1～6年生を対象とした親子料理教室を開催し、264人の小学生、親の参加があった。幼稚園、こども園でおやつ作り教室を開催し、楽しく作る事や食べ物の話題をする子どもに成長するように無理のない食育を実践した。群馬県及びび町が主催するぐんま食育フェスタINみなかみを開催し、目標としていた来場者3000人を大きく上回る4500人の方に来場して頂き、食育への理解と関心を深めた。また、地産地消を推進するための料理教室をドールランドと連携して開催したり、地元の食材を使ったおすすめレシピを広報に毎月掲載し、食育の推進を図った。</p>		

	基本事業名	今後の課題	平成27年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1 子どもの健康増進	乳幼児健診について保護者から午前中にしてもらいたい、待ち時間が長いなどの要望の声があるため、健診体制の変更が必要である。 ここ数年、予防接種の種類が増え、予防接種の副作用等の問題も取り上げられている。保護者への正確な情報提供が課題である。	あんしん出産子育て支援アプリを活用できるよう、母子健康手帳交付、新生児訪問、乳幼児健診等で直接母親に説明しながら、周知する。相談メールがあった時は、できるだけ早く返信できる体制をとり、母親の不安の軽減を図る。乳幼児健診や予防接種、子育て支援情報など、定期的に更新し、最新情報を伝えられるようにしていく。
	2 子どもの発達支援	子どもの発育・発達に不安を感じている親の支援をするため、育児相談や発達相談会等を充実させていく必要がある。保護者の不安を解消するためタイムリーに相談会が開催できるように小児科医師、臨床心理士、言語聴覚士などの専門職を継続して確保できる体制を整えていくことが課題である。	言語聴覚士等の専門職を常勤で確保するため、町の職員としての採用を検討し、保護者の不安をタイムリーに解消できるようにする。
	3 子育ての精神的負担の軽減	身近な地域で子育て親子の交流機会を提供する場や、子育ての情報を得る場が少ない。 児童虐待を未然に防ぐ環境を整備することなどが課題である。	子育て支援センター、子育て支援団体を中心としたネットワークづくりを推進し、親子の居場所づくりである子育て拠点を各地区にバランスよく設置する。また、新たに活動を考えている団体や個人を支援する。 地域・保育園・学校等の関係機関と連携を図る。児童虐待問題をもっと住民に知ってもらうための活動等を実施する。
	4 子育ての経済的負担の軽減	平成27年度施行の子ども・子育て新制度の導入により、保育料の単価改正及び給付制度も改正され、保護者の負担増が懸念される。 不妊治療費助成事業について、国では、対象者の年齢制限を設け助成回数も治療開始年齢により変えていくことから、今後の助成内容が後退することが懸念される。	平成27年度新制度施行に伴い保育園、幼稚園の保育料単価改正を検討し、同時に現行より保護者の負担が多くなる場合などは、町の軽減制度を見直す検討をする。 不妊治療費の本町独自の助成については、助成回数を増やし、1年度に最大2回、通算6回助成することとし、必要に応じて今後も見直しを検討する。
	5 子育てと仕事の両立	第1希望の月夜野保育園に入所できなかった児童について、保育施設が手狭のため現状では入所できない。 子育てと仕事の両立が厳しい環境にある保護者が増加している。	町外に勤めている保護者等の入所希望に沿った保育施設の整備が必要であり、平成28年開園を目指している(仮)月夜野こども園など子どもが快適で安全に過ごせる施設を整備し、待機児童の解消を図る。

03 子育て支援の充実

03-01-000001 乳幼児健診事業				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費 2,279,927円				
予算科目 会計 一般会計				款 4衛生費				項 1保健衛生費 目 2予防費				
事業概要	対象 3歳以下の乳幼児(ア)とその保護者(イ)	意図 (ア)すこやかに育つようになる(イ)発育・発達状況の把握ができる(イ)育児不安が軽減されるようになる			手段 乳幼児健診(内科・歯科健診、保健・栄養・歯科指導、フッ素塗布、問診、尿検査、育児相談、身体計測)							
		対象児数	平成24年度 623	平成25年度 610	単位 人	受診人数	平成24年度 574	平成25年度 556	単位 人	開催回数	平成24年度 48	平成25年度 48
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×			課題とその解決策 全幼児健診において、保護者の相談に応じる専門的知識を持った従事者(心理士・言語聴覚士)を配置でき、保護者の育児不安に対してリアルタイムに対応できた。また、必要に応じ、発達相談会等へつなげられた。			全幼児健診において、保護者の相談に応じる専門的知識を持った従事者(心理士・言語聴覚士)を配置でき、保護者の育児不安に対してリアルタイムに対応できた。また、必要に応じ、発達相談会等へつなげられた。		
	全幼児健診において、保護者の相談に応じる専門的知識を持った従事者(心理士・言語聴覚士)を配置でき、保護者の育児不安に対してリアルタイムに対応できた。また、必要に応じ、発達相談会等へつなげられた。			今後の改革改善案 健診未受診者に対する受診勧奨。健診待ち時間の短縮。			課題とその解決策 みなかみ町に居住していない時期がある人には連絡が難しいが、保育園に通っている人には、電話連絡に加え、園からも保護者に伝えてもらうよう依頼する。受付時間を調整する。					

03-01-000002 母乳相談・乳児相談事業				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費 207,837円				
予算科目 会計 一般会計				款 4衛生費				項 1保健衛生費 目 2予防費				
事業概要	対象 乳児相談:生後3か月・8か月・12か月の乳児及び保護者。母乳相談:母乳育児に不安を抱えている母親。	意図 安全に安心して子育てができ、仲間作りができる。母乳育児に関する不安の軽減及びトラブルの解消。			手段 乳児相談:身体計測、問診、保健指導 離乳食指導、ふれあい遊び(3か月児)、母乳相談:授乳指導、哺乳量測定、乳房マッサージ							
		乳児相談対象乳児数	平成24年度 280	平成25年度 314	単位 人	乳児相談・母乳相談にきて良かったと思う保護者の割合	平成24年度 91	平成25年度 91.5	単位 %	乳児相談・母乳相談開催回数	平成24年度 12	平成25年度 12
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×			課題とその解決策 全幼児健診において、保護者の相談に応じる専門的知識を持った従事者(心理士・言語聴覚士)を配置でき、保護者の育児不安に対してリアルタイムに対応できた。また、必要に応じ、発達相談会等へつなげられた。			全幼児健診において、保護者の相談に応じる専門的知識を持った従事者(心理士・言語聴覚士)を配置でき、保護者の育児不安に対してリアルタイムに対応できた。また、必要に応じ、発達相談会等へつなげられた。		
	チラシの修正やスタッフの確保等で乳児相談は参加率はやや上昇したが、まだ低い。今後も利用を促し、子供の発育発達を見守り、母親に寄り添った支援を行うことが必要。また、母親の仲間作りの場としても活用できるように工夫を考えたい。			今後の改革改善案 乳児相談については、周知方法の工夫をはかり、参加率はやや上昇したが、まだまだ低い現状。今後も周知方法の工夫をはかり、参加室が上昇するようにしていきたい。特に、母親が来て良かったと思える雰囲気作りにつとめ、母親の育児に対する不安の解消、および、ママ友達が出来、日頃の育児に対するストレスが発散出来るように、仲間作りへの援助を行う。母乳相談については、妊娠中および、新生児訪問等で母乳育児をすすめ、母乳育児を諦めないように産後早期に相談につなげるようにする。			課題とその解決策 参加率が上がると、会場が混雑し、待ち時間が増える。待ち時間に対する対策を考えることが必要。対象人数によりスタッフの増員等。					

03-01-000003 母子健康手帳交付事業				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費 81,146円				
予算科目 会計 一般会計				款 4衛生費				項 1保健衛生費 目 2予防費				
事業概要	対象 妊娠届を出した妊婦	意図 妊婦が、妊娠・出産・育児に対する心構えができ、定期的に妊婦健診を受診できる。			手段 毎週月曜日の母子健康手帳交付日に、母子健康手帳を交付し、合わせて保健指導を行う。							
		妊娠届出数	平成24年度 97	平成25年度 89	単位 人	妊婦健診を受診した延べ人数	平成24年度 1,191	平成25年度 1,093	単位 人	母子健康手帳交付数	平成24年度 102	平成25年度 89
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×			課題とその解決策 全幼児健診において、保護者の相談に応じる専門的知識を持った従事者(心理士・言語聴覚士)を配置でき、保護者の育児不安に対してリアルタイムに対応できた。また、必要に応じ、発達相談会等へつなげられた。			全幼児健診において、保護者の相談に応じる専門的知識を持った従事者(心理士・言語聴覚士)を配置でき、保護者の育児不安に対してリアルタイムに対応できた。また、必要に応じ、発達相談会等へつなげられた。		
	交付の日にちを決め、正規の保健師が対応する事で統一した指導が行えている。			今後の改革改善案 来所する時間が重なった場合は、空いている保健師が対応し、事前に相談票を記載してもらい待ち時間を少なくするよう対応。			課題とその解決策 交付が重なった場合、窓口での対応になる。プラバシ-が保護出来る相談場所の設置。					

03 子育て支援の充実

03-01-000004				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費 22,753,991円					
乳幼児等定期予防接種事業				予算科目 会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費			
事業概要	対象	定期予防接種は乳児から高校3年生			意図	予防接種を受けることにより感染症の発症を防ぎ、重度障害および死亡等の健康被害を回避する。			手段	・定期予防接種における個別接種、および集団接種の実施。			
	定期予防接種対象者(乳児～高校)	平成24年度	平成25年度	単位		定期予防接種の接種率(乳児～高校3年生)	平成24年度	平成25年度		単位	定期予防接種(乳児～高校3年生)の接種者数	平成24年度	平成25年度
			2,043	4,506	人		82.5	58	%	1,686	2,613	人	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×		
全体総括		予防接種法の改正、予防接種後の健康被害の発生により、保護者の不安が増している。ヒパビロ-マイ感染症以外の定期予防接種について、接種差し控えが無い様接種勧奨を行っている。ヒパビロ-マイ感染症については、現在積極的勧奨を差し控えているが、接種を希望する人が受ける機会を逃さないよう、本人・保護者及び医療機関等に情報の提供を行う必要がある。			今後の改革改善案			ヒパビロ-マイ感染症については、4月から定期予防接種になったが、健康被害の発生により、現在積極的勧奨を差し控えている。			課題とその解決策		

03-01-000008				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費 50,428円					
親と子の料理教室事業				予算科目 会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費			
事業概要	対象	ア町内の小学生(1年生～6年生)とその保護者			意図	ア料理を作る事に関心を持ち準備、後かたづけに参加する。イ食事の話題を家族で共有する。			手段	6月おやつ作り、7月ピザ、バームクーヘン作り、12月そば打ち、クリスマスケーキ作り、2月郷土料理			
	小学生1年生～6年生	平成24年度	平成25年度	単位		食事作り準備にかかわる子どもの割合	平成24年度	平成25年度		単位	開催回数	平成24年度	平成25年度
			922	859	人		18.2	27.1	%	5	5	回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×		
全体総括		夏休み、冬休みや学校行事などを考慮し日程を決めているが、参加者の少ない教室や定員を上回る料理教室もあったので事業内容、開催日程、時間を検討し参加しやすい環境を作る必要がある。			今後の改革改善案			①おやこの料理教室の日程及び内容の検討			課題とその解決策		

03-01-000009				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費 31,122円					
親と子の食体験講習会事業				予算科目 会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費			
事業概要	対象	北・下牧幼稚園全園児と保護者、第三保育園全園児と保護者、にいほりこども園5歳児			意図	ア子供が料理をする機会を増やす。イ家族で食について話す機会を増やす。			手段	11月北・下牧幼稚園(スイートポテト)、12月みなかみ第三保育園(クリスマスケーキ)、1月ににいほりこども園(コンソメポテト)			
	公立幼稚園、こども園の以上児及び第三保育園に通う園児	平成24年度	平成25年度	単位		参加して親子で料理をする機会が増えた参加者の割合	平成24年度	平成25年度		単位	開催回数	平成24年度	平成25年度
			80	66	人		88.8	92.5	%	3	3	回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×		
全体総括		園行事で保護者が参加する回数が増え、保護者の負担が大きくなっているため、子どもだけで実施できるように内容を変更して実施した事により、自分で作る喜びや完成したときの喜びが増し、調理することに興味がわいたと思う。			今後の改革改善案			①私立幼稚園、保育園、こども園との調理保育の連携 ②公立幼稚園、こども園の給食時における園児に対する食育活動 公立の幼稚園、こども園、保育園は実施しているが、私立こども園、保育園では未実施である。			課題とその解決策		

03 子育て支援の充実

03-02-000001				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費		142,762円									
発達相談会事業				予算科目		会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費							
事業概要	対象	発達相談会：発達の気になる児を持つ保護者。育児不安のある保護者。コンサルテーション：障害児および、行動が気になる児を担当する幼稚園、保育園、学校等の職員。		意図	発達相談会：保護者が子どもの発達段階に見合った育児に取り組める。保護者の育児不安の軽減。コンサルテーション：障害児および行動が気になる子どもへの具体的な支援方法がわかり取り組める。				手段	臨床心理士、言語聴覚士による、個別の相談会および、保育園・幼稚園・学校等の先生方を対象としたコンサルテーション。									
		健診等で発達の気になる児の割合			平成24年度	平成25年度	単位	発達相談会参加者数(実)		平成24年度	平成25年度	単位	コンサルテーション実施回数		平成24年度	平成25年度	単位		
		35.4		50.2		%		19		15		人		24		28		回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性				コスト						
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×						
全体総括		発達相談会：幼児健診での育児相談が充実してきたので、利用者は減少しているが、言葉の教室の利用者は増加している。コンサルテーション：年々増加している。園の先生方の関心も高くなり利用回数が増えたと思われる。		今後の改革改善案		発達相談会は親の要望に応えられるような内容を考えていく。言葉についての心配が多いので言葉の教室の充実をはかっていく。				課題とその解決策		・専門職との調整							

03-02-000002				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費		661,105円									
のびのびサークル事業				予算科目		会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費							
事業概要	対象	社会性およびコミュニケーションに支援が必要な乳幼児とその保護者。発達に遅れがある乳幼児とその保護者。		意図	集団遊びを通じて集団の中で適応できるようになる。体のバランスを整えることができるようになる。				手段	遊びを中心とした集団活動。体の発達が発達につながる乳幼児の個別指導。									
		社会性及びコミュニケーションに支援が必要な乳幼児			平成24年度	平成25年度	単位	のびのびサークルに参加してよかったと思う保護者の割合		平成24年度	平成25年度	単位	のびのびサークル開催回数		平成24年度	平成25年度	単位		
		82		92		人		100		100		%		24		24		回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性				コスト						
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×						
全体総括		教室の内容的には充実し、軌道にのってきている。		今後の改革改善案		参加を中断してしまう子どもたちやお誘いから参加つながらない子たちのフォローアップを考えていく必要がある。				課題とその解決策		・専門職との調整 ・事業費の増加							

03-02-000003				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費		321,000円									
子ども会育成団体連絡協議会活動支援事業				予算科目		会計 一般会計		款 10教育費		項 6社会教育費		目 1社会教育総務費							
事業概要	対象	町子ども会育成団体加入人数(町内の幼児(3才以上)児童生徒、育成者等)。		意図	子どもたちの交流によって協調性のある心が育つ。				手段	総会・研修会。川と遊ぼう、親子ラフティング教室、町・郡・県各かたる大会。									
		会員数			平成24年度	平成25年度	単位	児童生徒・役員参加数(延べ)		平成24年度	平成25年度	単位	総会・研修会		平成24年度	平成25年度	単位		
		1,508		1,115		人		650		982		人		3		3		回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		× 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性				コスト						
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×						
全体総括		子ども会活動を活発にすることにより、心豊かな生き生きとした、健全な子ども達が育つことが目標。負担金は郡子ども会育成の運営事業であり、かるた大会が中心である。各町村の子ども会活動の発展につなげられるよう協力。		今後の改革改善案		子どもが減少しているが、現状維持で対応しているところは無理もあるが、役員、保護者の協力により行事への参加者を増やしていく。				課題とその解決策		各町村子ども会委員が減少しつつあるが、連絡調整や体験活動事業を通して、互いの情報交換をしながら育成会の発展を図る。							

03 子育て支援の充実

03-02-000004 青少年育成推進員連絡協議会活動支援事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 603,388円				
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 6社会教育費				目 1社会教育総務費				
事業概要	対象	町内の青少年			意図	子どもが非行に走らないよう地域で青少年を見守る。			手段	総会の開催。町内パトロールの実施(7回)。社会環境実態調査の実施。たまり場実態調査の実施。研修会等への参加。町内各学校において、朝のあいさつ運動実施。		
	児童・生徒数	平成24年度	平成25年度	単位		推進員による夜間等の補導件数	平成24年度	平成25年度		単位	パトロール	平成24年度
		1,508	1,416	人			0	0	件	7	7	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	パトロールの回数の見直し。「地域のために」という推進員の意識を向上させるための研修の実施。			今後の改革改善案	①推進員の意識向上のための研修 ②警察の少年補導員との連携			課題とその解決策	青少年を取り巻く環境への理解、(携帯のフィルタリング等)それぞれの地域での活動内容の充実。研修会開催		

03-02-000005 放課後子ども教室事業				担当組織 教育課 生涯学習推進グループ				事業費 1,239,966円				
予算科目 会計 一般会計 款 10教育費				項 6社会教育費				目 1社会教育総務費				
事業概要	対象	町内の小学生			意図	安全で安心な場所で過ごす。色々な活動を楽しみ体験・習得できる。子どもを見守ってもらえて安心できる。地域のひととの交流を持つことができる。			手段	各教室は企画運営、集金等。教育委員会は各教室に指導助言、保険に関する事務、教材等の注文・支払い、運営委員会の開催、合同教室の開催等。		
	児童数	平成24年度	平成25年度	単位		参加児童数	平成24年度	平成25年度		単位	開設学校数	平成24年度
		917	864	人			330	339	人	6	6	校
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	安全管理員の努力により活動はますます充実してきているが、それに反して年々補助金が減額されてきている。予算がなくても今と同様の活動を続けていける体制づくりが必要である。地域の実情に合わせた運営のため、対象学年や実施回数などが教室によって異なっているが、現状では統一することは難しい。保険料や教材費・おやつ代は参加者が公平に負担している。			今後の改革改善案	大変充実した活動ができていますので、補助金がなくなっても同様の活動を続けていける体制づくりを行う。			課題とその解決策	安全管理員の謝金は、かける時間と手間暇を考えると現状でさえわずかなものなのに、なくなってしまったらどだけの人が今までと変わらずに協力してくれるのか。最終的に補助金はなくなるという前提のもと、少しずつ経費を削減するよう努め、理解を求めていく。		

03-03-000001 母子会活動支援事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 46,000円				
予算科目 会計 一般会計 款 3民生費				項 2児童福祉費				目 3母子福祉費				
事業概要	対象	みなかみ町母子会(母子家庭の団体)			意図	母子会の活動を支援することにより母子家庭同士の交流を促進し、母子家庭の生活の充実を図る。			手段	補助金の交付		
	会員数	平成24年度	平成25年度	単位		イベント参加人数	平成24年度	平成25年度		単位	イベント回数	平成24年度
		57	42	人			58	67	人	3	3	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	補助金の交付については適正と思われるが、会の活性化を図るため、事務局と検討しました。			今後の改革改善案	活動状況について検証した結果、支部の統合により、会費の統一を図ることになった。また、通例の行事に加え、新たな行事も検討する。			課題とその解決策	支部統合については、各会員の思いもあるが、H25年度中に説明も出来ており問題ないと思われる。町としては会員募集など協力し、活性化を図る。		

03 子育て支援の充実

03-03-000002 子育て支援センター管理運営事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		7,440,000円			
予算科目				会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費			
事業概要	対象	就学前の子どもとその保護者。(相談業務については、就学後も受け付ける)			意図	ゆとりをもって子育てを楽しんでもらう。			手段	支援センター運営をNPO法人みんなの太助さんに委託。常設のひろば「汽車ぼっぼ」に加え、地域に出向いた出張サークル「キラキラ」「わくわく」、「リトミック」開設。外部講師による講演会実施。			
		就学前児童数(4月1日時点)	平成24年度	平成25年度		単位	来場者延べ数	平成24年度		平成25年度	単位	支援センター開館日数	平成24年度
			629	635	人		7,776	8,864	人		244	240	日
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×		
	全体総括	前年度からの継続的な事業に加え、久保産婦人科助産師との連携による「出産に関する相談会」を実施。運営の充実を図った。			今後の改革改善案	前年度より大幅に利用者が増えたが、町外の利用者が増えている。町内対象者について、周知方法を検討しなおし、利用者増を図る。			課題とその解決策	活動内容が増えるため、スタッフの個人負担が増えている。スタッフ増員の検討やスキルアップ、より効率的な運営が必要と思われる。			

03-03-000003 子育て支援団体活動奨励事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		3,545,000円			
予算科目				会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費			
事業概要	対象	子育て支援団体			意図	安心して、地域の子育て支援に取り組める。			手段	補助金の交付			
		就学前児童数(4月1日時点)	平成24年度	平成25年度		単位	子育てひろば参加者延数	平成24年度		平成25年度	単位	交付件数	平成24年度
			629	635	人		1,394	2,533	人		2	2	人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×		
	全体総括	にここくらぶについては少ない補助で年30回を超える活動をしていただき、利用者数も多く、町の子育て支援環境向上に大きく貢献している。ほかほかについては、2年目を迎え、利用者が少し増えてきた。子育てボランティアの育成(人材育成)は長い目で見れば重要なことであり、積極的に支えていく必要がある。			今後の改革改善案	地域バランスを考えながら、親子の居場所作りをすすめてきたが、ほかほかの利用状況や水上地区のひろば(まつぼっくり、わくわく)活用状況を踏まえて適正(場所、数など)を見極める必要がある。			課題とその解決策	団体が増えつつあるので、補助金の交付に限らず、連携を持ち、情報共有して、よりよい子育て支援環境を整備する必要がある。			

03-03-000004 要保護児童対策地域協議会事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		円			
予算科目				会計		款		項		目			
事業概要	対象	要保護児童、要支援児童、特定妊婦及び虐待をしている者。児童相談所、警察、民生委員会、保育園、幼稚園、小中学校、保健師等虐待防止関係者。			意図	要保護児童等の早期発見や適切な支援を行い、虐待をやめさせ児童の健全な発育を促し、健全な家庭にする。			手段	代表者会議、実務者会議、ケース会議の開催。			
		ケース件数	平成24年度	平成25年度		単位	終結したケース件数	平成24年度		平成25年度	単位	代表者会議	平成24年度
			17	17	件		3	6	件		1	1	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×		
	全体総括	扱うケースにより、事務の煩雑化に大きな差が出る。現体制(男1名、女1名)になってからは、ケースにより担当を分けて無理なくすすめられている。			今後の改革改善案	早期発見等のため関係者の連携を強化する必要がある。また、虐待になる前の予防策も必要であり、啓発活動が重要。			課題とその解決策	事務職には専門的な知識がない中で、あらゆるケースに対応していかなければならない。子どもの心理的診断等は児童相談所北部支所で行えるが、距離もあり、気軽に相談がづらい。町にも専門的な担当者(臨床心理士等)を考えたいが、県内で虐待対応の専門職をおいているケースはない。			

03 子育て支援の充実

03-03-000005 児童虐待防止対策緊急強化事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		円				
予算科目 会計 一般会計				款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費						
事業概要	対象 虐待対応担当課及び全住民	意図		体制強化をすることにより、虐待対応を慎重かつ正確に行い、全住民に対する啓発活動により早期発見、早期解決をする。				手段	緊急的な活動はなし。					
		見守りをしている虐待件数	平成24年度 17	平成25年度 19	単位 件	虐待ケース件数	平成24年度 7		平成25年度 6	単位 件	虐待事務対応職員数	平成24年度 5	平成25年度 5	単位 人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		今年度は緊急的なものはなかった。児童虐待対応に関する体制は整っており、緊急的なものはない。今後は要保護児童対策地域協議会事業により対応が可能。		今後の改革改善案 次年度以降、緊急的な対応を求められた時は要保護児童対策地域協議会事業にて対応する。		課題とその解決策 利用している県補助事業が安心こども基金を財源とするものであり、当初予算計上時点では実施されるかどうかかわからない。補助がなくなる、または補助率を下げた実施された場合、どうするか要検討。							

03-03-000006 おめでと訪問事業				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費		102,429円				
予算科目 会計 一般会計				款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費						
事業概要	対象 生後2か月までの乳児及び保護者	意図		育児等に関する不安の軽減。支援が必要な家庭が適切なサービスにつながる。				手段	主に保健推進員が訪問。事前に保健師からの申し送り票を確認して訪問。訪問時、絵本とパンフレットの説明をし、乳児相談の通知を配布する。また、母親の相談に応じる。					
		出生数(前年度2月生～今年度1月生)	平成24年度 93	平成25年度 101	単位 人	おめでと訪問に来てもらったよかったと思う母親の割合	平成24年度 91		平成25年度 92	単位 %	保健推進員への依頼数	平成24年度 12	平成25年度 12	単位 回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		訪問先が新しい家だと、場所が把握しづらいため、情報提供書に地図を添付するようにした。訪問先の様子や気になる事がある場合は連絡してくれた保健推進員も何人かあり、今後はさらに保健推進員との連携を密にしていきたい。		今後の改革改善案 保健推進員が訪問時に気になる事があれば、保健師に連絡をするように呼びかける。		課題とその解決策 ・保健推進員を対象とした研修会の充実。・「おめでと訪問」と保健推進員を住民に周知する。							

03-03-000007 新生児訪問事業				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費		25,738円				
予算科目 会計 一般会計				款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費						
事業概要	対象 産婦及び新生児	意図		育児に対する不安を軽減し、安心して子育てしてもらう。				手段	出生情報を把握し、母子健康相談票を作成。地区担当の保健師が訪問他市町村からの依頼があった訪問を実施(3件) 里帰り先へ訪問依頼(3件)					
		産婦訪問の数	平成24年度 93	平成25年度 97	単位 人	出産や子育てに不安を感じていない町民の割合	平成24年度 33.2		平成25年度 32.7	単位 %	出生届出数	平成24年度 99	平成25年度 105	単位 人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		地区担当保健師が、電話連絡・家庭訪問という方法で全ての産婦・新生児を支援していくことで、産婦の不安を軽減したり、虐待予防にもつながる。いつでも相談できるという体制を整えることで、今後の子育て支援にも役立つ。		今後の改革改善案 子どもの出生数も地区によりバラツキがあるが、原則地区担当保健師が訪問することを継続。里帰り先から戻らない等の理由により、すぐ訪問できない場合も電話連絡は早めに行い、新生児の状況把握や、育児不安の解消を図れるようにしている。人材確保ができれば、雇い上げの助産師・保健師等に依頼することも検討。		課題とその解決策 地域に雇いあげ出来る助産師や保健師等の人材がいない。							

03 子育て支援の充実

03-03-000008				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費		104,347円					
両親学級事業				予算科目		会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費			
事業概要	対象	妊娠届を出した妊婦及びその夫(転入者も含む)			意図	妊娠・出産・育児に対する知識を身につけられる。両親学級を通じて仲間づくりができる。			手段	1回2日間で、年3回実施(6月・10月・2月に開催)					
		妊娠届出数	平成24年度	平成25年度		単位	両親学級参加者数 実・延	平成24年度		平成25年度	単位	両親学級開催回数	平成24年度	平成25年度	単位
			97	89	件		35	26	人		3	3	回		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × ×				
	仕事を携えている人は、平日だと参加しにくい。第1子の時参加すると、第2子以降の参加は少ない。妊娠の安定期での開催の為に年間3コース程度の開催が必要である。			今後の改革改善案			仕事を携えている人も参加しやすくするため、休日に開催する日を設ける。妊婦体操を兼ね、ママヨガ教室への参加を勧める。			課題とその解決策			妊娠届出の減少や、就労している妊婦が多いことから、両親学級の参加者数が減少している。新生児訪問の際、両親学級に関するアンケートをとり、今後の内容を検討していく。		

03-03-000009				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費		114,185円					
ベビーマッサージ事業				予算科目		会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費			
事業概要	対象	乳児と保護者			意図	・ママとあかちゃんがリラックスできる。・母親同士の交流がはかれる。			手段	ベビーマッサージ・講話					
		出生数	平成24年度	平成25年度		単位	参加人数(延)	平成24年度		平成25年度	単位	ベビーマッサージ開催回数	平成24年度	平成25年度	単位
			99	105	人		123	129	人		11	11	人		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × ×				
	教室は軌道にのり、毎月の参加者数が安定してきた。お母さんがゆったりした時間を過ごし、気軽に助産師に相談するようになってきた。			今後の改革改善案			現状維持			課題とその解決策			こここくらぶスタッフとの協力体制の充実。		

03-03-000010				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費		95,150円					
ママヨガ教室事業				予算科目		会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費			
事業概要	対象	妊婦・産婦(産後12か月くらいまで)			意図	妊娠・出産・母乳育児に対する知識を身につけられる。ママヨガ教室を通じて仲間づくりができる。			手段	毎月1回、原則として第4月曜日の午前、みなかみ町地域子育て支援センター(111はるこども園内2階)で開催。					
		妊娠届出数	平成24年度	平成25年度		単位	ママヨガ教室妊婦延べ参加者数	平成24年度		平成25年度	単位	ママヨガ教室開催回数	平成24年度	平成25年度	単位
			97	89	件		22	39	人		11	11	回		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × ×				
	子どもがお誕生になったため終了した人も次の子を妊娠した事で早期から参加していた。ママヨガ参加をきっかけに参加者同士で情報交換や交流が出来ていた。			今後の改革改善案			地域での仲間づくりを進める為、両親学級を受講出来なかった産婦に対し参加を呼びかけていく。			課題とその解決策			会場が新治地区での開催のため、水上地区からは遠い。身近な場所になるよう子育て支援センターの利用を進めていく。		

03 子育て支援の充実

03-03-000011				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		115,718円								
夏休み幼稚園開放(みんなの広場)事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 5幼稚園費		目 1幼稚園総務費								
事業概要	対象	就学前親子(小学校低学年程度の児童まで可)			意図	親子の交流の促進につながり、子育てをより楽しめる			手段	幼稚園との事業計画検討打合せ会議の実施及び連絡調整、広報、イベントの設定、おもちゃの設置、教材の準備、講師依頼、参加費の徴収、利用者アンケート・予算管理等。								
		月夜野地区就学前児童数	平成24年度	平成25年度		単位	また利用したいと思った割合	平成24年度		平成25年度	単位	開設日数	平成24年度	平成25年度	単位			
			397	336	人			94	%		20	19	日					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括			今後の改革改善案			課題とその解決策			夏休みは研修が多いため、園の職員に負担がかかる。そのため、活動量は増やせないが、内容の充実を図っていく。								

03-03-000012				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		12,645円								
次世代育成支援計画進捗管理事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費								
事業概要	対象	子育てに関わるすべての住民			意図	協議会の意見を踏まえ町の子育て支援策を充実させる。			手段	会議実施なし								
		児童人口(18歳以下)	平成24年度	平成25年度		単位	推進会議開催回数	平成24年度		平成25年度	単位	協議会委員数	平成24年度	平成25年度	単位			
			2,752	2,716	人		0	0	回		17	17	人					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携			効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括			今後の改革改善案			課題とその解決策			次世代育成支援計画がH26年度で切れるため、評価をどのようにするかが課題。								

03-03-000013				担当組織 地域整備課 都市計画グループ				事業費		4,672,500円								
子どもの遊び場整備事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費								
事業概要	対象	公園に設置されている遊具			意図	安全で安心して遊べる遊具に更新整備する			手段	コンビネーション遊具の更新整備								
		公園に設置されている遊具数	平成24年度	平成25年度		単位	遊具保守点検で使用不可となった遊具のうち更新整備することによって安全に使用できるようになった数	平成24年度		平成25年度	単位	事業費	平成24年度	平成25年度	単位			
			29	29	基		1	1	基		35,312	4,672.5	千円					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携			効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括			今後の改革改善案			課題とその解決策			指名業者の選定の仕方を再考する必要がある。								

03 子育て支援の充実

03-03-000014 蟹杵児童公園管理運営事業				担当組織 地域整備課 都市計画グループ				事業費		50,000円				
予算科目 会計 一般会計				款 8土木費		項 4都市計画費		目 4公園費						
事業概要	対象	蟹杵児童公園			意図	利用者が気持ちよく安全に施設を利用出来る状態にする				手段	公園の維持管理(除草作業、トイレ清掃等)を地元区に依頼し、その謝礼の支払い事務を行う			
		施設面積	平成24年度	平成25年度		単位	管理上の不具合、トラブル発生件数	平成24年度	平成25年度		単位	除草作業回数	平成24年度	平成25年度
		2,200	2,200	㎡			4	2	件	3		3	回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果		コスト 削減 維持 増加 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括		老朽化した遊具の更新を計画的に実施する必要がある。他の町内施設との一括管理ができれば理想であるが、事業費は増大する。			今後の改革改善案		老朽化した遊具の計画的な更新、他の町内施設との一括管理の方策を模索する。				課題とその解決策		遊具更新のための予算の確保が必要となる。

03-03-000015 真政河原児童公園管理運営事業				担当組織 地域整備課 都市計画グループ				事業費		4,568,675円				
予算科目 会計 一般会計				款 8土木費		項 4都市計画費		目 4公園費						
事業概要	対象	真政河原児童公園			意図	利用者が気持ちよく安全に施設を利用出来る状態にする。				手段	公園の維持管理(除草作業、トイレ清掃等)を地元区に依頼し、その謝礼の支払い事務を行う老朽化した複合遊具の更新工事の実施			
		施設面積	平成24年度	平成25年度		単位	施設維持管理上の不具合・トラブル発生件数	平成24年度	平成25年度		単位	除草作業回数	平成24年度	平成25年度
		3,478	3,478	㎡			0	1	件	3		3	回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果		コスト 削減 維持 増加 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括		老朽化した遊具の更新を計画的に実施する必要がある。他の町内施設との一括管理ができれば理想であるが、事業費は増大する。			今後の改革改善案		老朽化した遊具の計画的な更新、他の町内施設との一括管理の方策を模索する。				課題とその解決策		遊具更新のための予算の確保が必要となる。

03-03-000016 子ども・子育て会議運営事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		0円				
予算科目 会計 一般会計				款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費						
事業概要	対象	構成員			意図	町の子育て支援策を充実させるため、より多くの委員の意見を引き出す。				手段	H25年度については、会議を設置し、計画策定に向けて、意見交換等行う。			
		保護者委員数	平成24年度	平成25年度		単位	会議開催回数	平成24年度	平成25年度		単位	協議会委員数	平成24年度	平成25年度
				0	人			0	回				人	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果		コスト 削減 維持 増加 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括		3月議会にて条例制定。委員の公募を行うことになり、年度内に会議を組織することができなかった。			今後の改革改善案		今年度は会議を開催することができなかった。来年度早々に、保護者委員を公募し、会議を組織し、計画策定に向け会議を運営していく。				課題とその解決策		新制度に関する国の決定が大幅に遅れているため、同時進行で会議を進めていくのが困難。

03 子育て支援の充実

03-04-000001				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		8,430,000円			
出産祝金事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費			
事業概要	対象	子の出生日時時点で6ヶ月以上みなかみ町の住民で、かつ町税等に滞納がない保護者。			意図	子育て家庭の出産時の経済的負担を軽減し、子どもの健全育成を図る。			手段	該当者の申請により支給。			
	出生数	平成24年度	平成25年度	単位		出産や子育てに経済的な不安を感じている町民の割合	平成24年度	平成25年度		単位	第1子支給件数	平成24年度	平成25年度
		99	105	人			83.2	81.4	%	39	29	件	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括		今年度より滞納要件をなくし、第1子・第2子の支給金額を増額した。支給内容は県内上位の高額な支給をしているので、住民の満足度も高いと思われる。			今後の改革改善案			今年度から制度が変わったため、住民の意見や、国の経済的支援など見ながら今後を検討していく。		課題とその解決策		
										今年度から支給額、支給方法等変更したが、とくに問題なく事務を行えた。次年度も継続していきたい。			

03-04-000002				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		8,960,000円			
入学支援金事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費			
事業概要	対象	平成24年4月に小学1年生・中学1年生になる児童を養育する保護者。			意図	子育て家庭の入学時の経済的負担を軽減する。			手段	小学校、中学校入学予定者の保護者に商品券を支給した。			
	中学校入学支給数	平成24年度	平成25年度	単位		出産や子育てに経済的な不安を感じている町民の割合	平成24年度	平成25年度		単位	中学生以下児童数(4/1時点)	平成24年度	平成25年度
		178	162	人			83.2	81.4	%	2,130	2,072	人	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括		事業開始から5年が経過し、住民にも事業が浸透してきており、事業を継続することにより、町の子育て支援策の充実につなげたい。また、商品券で支給することにより、町内の商工業者の活性化につながっている。さらに今年度は支給額を増額し、サービス向上を図れた。			今後の改革改善案			国の経済的支援(児童手当)が安定したため、入学支援金の増額を図ったが、国の子育て支援新制度により給付が変わるようであれば、再度見直しもありえる。		課題とその解決策		
										国の新制度次第で検討する必要はあるが、現段階では判断できない。			

03-04-000003				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		256,196,920円			
児童手当事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 2児童措置費			
事業概要	対象	小学校卒業までの子どもを養育する保護者(所得制限あり)			意図	生活の安定と児童の健全育成及び資質の向上			手段	対象者に手当てを支給。			
	受給者数	平成24年度	平成25年度	単位		出産や子育てに経済的な不安を感じている町民の割合	平成24年度	平成25年度		単位	小学生以下児童数(4/1時点)	平成24年度	平成25年度
		1,177	1,120	人			83.2	81.4	%	1,533	1,502	人	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括		国の制度が落ち着いたため問題なく事務ができた。			今後の改革改善案			ここ数年、制度改正を繰り返してきたが、今年度については現行どおり行われたため問題なく事務ができた。今後も現状を継続したい。		課題とその解決策		
										特に問題はない。			

03 子育て支援の充実

03-04-000004				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		円	
児童扶養手当事業				予算科目 会計		款		項		目	
事業概要	対象	18歳に達する年度等の児童を監護するひとり親家庭等		意図	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与する				手段	①認定請求の受付・相談 ②台帳整理 ③現況届受付 ④通知の発送 ⑤該当者の各種届出の受付・依頼等	
		受給者数(年度末時点)	平成24年度 168 平成25年度 159 単位 人			受給者数(年度末時点)	平成24年度 168 平成25年度 159 単位 人			各種受付件数	平成24年度 66 平成25年度 54 単位 件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	制度改正に加え、25年度は国担当者レベルでの変更もあったため、群馬県担当課と連絡を密にし、対象者が不利にならないよう適切な認定請求事務等を行う。			今後の改革改善案	国の基準により今後も実施。請求時の提出書類が増えてきたため、対象者への指示を指示できるようにする。法改正時、制度の周知を図る。			課題とその解決策	県との連絡を密にする。申込書一式を封筒にセットし、現況届時や受付時に必要な書類のチェックリスト表を付けたりした。	

03-04-000005				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		円	
特別児童扶養手当事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費	
事業概要	対象	精神または身体にある一定の障害がある20歳未満の児童を養育する方		意図	精神または身体にある一定の障害がある20歳未満の児童を養育する方へ手当を支給する				手段	①申請受付②台帳管理③所得状況届受付④県の認定に係る各種通知⑤事務取扱交付金処理	
		受給者数	平成24年度 29 平成25年度 30 単位 人			事務取扱交付金	平成24年度 42 平成25年度 40 単位 千円			申請件数	平成24年度 16 平成25年度 18 単位 件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	対象者に対して制度や必要書類に関する説明を丁寧に行い、群馬県担当課と連絡を密にし、速やかな認定請求事務を行うようにする。			今後の改革改善案	国の基準が変わらない限り、事業費は現状維持になる。受付時の提出書類が増えているため、対象者にもれなく指示できるようにする。また、制度についてパンフレット等で分かりやすく説明できるようにする。			課題とその解決策	法改正等が毎年あるため、パンフレットや受付時に必要な診断書等の様式を常に最新のものを窓口に準備しておく。	

03-04-000006				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ				事業費		7,428,490円	
妊婦健診費助成事業				予算科目 会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費	
事業概要	対象	妊娠届を出した妊婦及び転入した妊婦		意図	妊婦健診の費用が軽減でき、定期的に健診を受けられる。				手段	毎週月曜日の母子健康手帳交付日に、受診票を交付し、合わせて保健指導を行う。転入者へは随時受診票の差し替えを行う。	
		妊娠届出数	平成24年度 97 平成25年度 89 単位 人			妊婦健診を受診した延べ人数	平成24年度 1,191 平成25年度 1,093 単位 人			受診票交付枚数	平成24年度 1,495 平成25年度 1,349 単位 枚
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括	妊娠届け出後、転出を予定している妊婦については、受診券の差し替えについて充分説明を行う必要がある。母子健康手帳交付は曜日を決め、お知らせしているが、転入妊婦については随時来るため、保健師が不在の可能性もある。			今後の改革改善案	妊娠届け出後、転出を予定している妊婦については、受診券の差し替えについて充分説明を行う必要がある。転入妊婦への受診券については随時実施。			課題とその解決策	転入妊婦で、事前に問い合わせがあった場合は母子健康手帳公布日を紹介。保健師が不在だった場合は電話連絡を行う。	

03 子育て支援の充実

03-04-000007 不妊治療費助成事業				担当組織 子育て健康課 健康推進グループ		事業費 532,000円	
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費				項 1保健衛生費		目 2予防費	
事業概要	対象	法律上の婚姻関係にある夫婦・医師が不妊治療が必要であると判断した者・夫婦共に本町に住所を有し、引き続き1年以上居住している者・各医療保険の被保険者又は被扶養者・町税等に滞納または未納がない者		意図 不妊治療を受け、妊娠につながる		手段 町の広報に掲載。申請受理事務。決定通知書発送及び支払い事務。	
	不妊治療費助成金を交付した人数	平成24年度 11	平成25年度 7	単位 人	不妊治療後、妊娠届をした人数	平成24年度 4	平成25年度 2 人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 × × ×	
	全体総括	不妊治療費の助成をすることで、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減に役立っている。早期に治療がすすめられるよう、体制を整えていく必要がある。		今後の改革改善案	不妊治療費の助成を年1回ではなく、年2回に増やしていく。		課題とその解決策 不妊治療は、年齢が若いうちに治療する方が、妊娠に結びつく可能性が高い。早期に治療できるような体制を整えていくために、みなかみ町不妊治療費助成事業の要綱を見直す。

03-04-000008 出産育児一時金事業				担当組織 町民福祉課 窓口・医療グループ		事業費 1,549,650円	
予算科目 会計 国民健康保険特別会計 款 2保険給付費				項 4出産育児諸費		目 1出産育児一時金	
事業概要	対象	被保険者が出産したとき、本人が属する世帯主		意図 安心して出産することができる		手段 該当者から申請書の受付を行い、確認・支給	
	年間平均被保険者数	平成24年度 7,510	平成25年度 7,075	単位 人	出産や子育てに不安を感じている割合	平成24年度 66.7	平成25年度 67.3 %
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 × × ×	
	全体総括	平成22年10月から平成32年3月までの時限措置として支給額を4万円引き上げになっていたが、4月以降も継続することになった。さらに医療機関への直接払い制度も21年10月から開始され被保険者の負担軽減に繋がっている。		今後の改革改善案	・現状維持		・問題なし

03-04-000009 福祉医療費支給事業				担当組織 町民福祉課 窓口・医療グループ		事業費 162,384,740円	
予算科目 会計 一般会計 款 3民生費				項 1社会福祉費		目 4福祉医療費	
事業概要	対象	乳幼児：15歳年度末までの子。重度心身障害者：身障者手帳1,2級、障害年金1級、療育手帳A判定。母(父)子家庭：所得税非課税で18歳年度末までの子と扶養している配偶者のいない女子または男子。		意図 医療費に係る経済的な負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにする。		手段 対象者へ受給資格者証の交付該当者、医療機関、柔道整復師からの請求受付県へ申請書や請求書の審査依頼審査したものを電算入力し、福祉医療費の支払い	
	受給資格者数(年度末現在)	平成24年度 37,681	平成25年度 36,224	単位 人	1人あたり医療費	平成24年度 4,315	平成25年度 4,278 円
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 × × ×	
	全体総括	受給者(保護者)の経済的負担の軽減を図り、子育て支援や社会福祉の向上に寄与できている。		今後の改革改善案	平成22年度税制改正による年少扶養控除及び特定扶養控除の上乗せ部分の廃止に伴い、母(父)子家庭福祉医療費受給資格認定要件が変更となるので、今まで所得税が課税だった者が非課税となる場合が出てくる。よって平成24年8月1日より医療費の拡大が見受けられる可能性がある。(第3 第2項第6号)		課題とその解決策 将来的に医療の高度化等により福祉医療費の支給が増加した場合は、所得制限導入や、一部負担金導入を検討する必要がある。対応としては、健康づくり事業との連携により福祉医療費の増加の抑制に繋がるようにしていかなければならない。

03 子育て支援の充実

03-04-000010				担当組織 町民福祉課 窓口・医療グループ				事業費 296,972円						
未熟児養育医療給付事業				予算科目 会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費		目 2予防費				
事業概要	対象	母子保健法第6条第6項に規定する未熟児(身体の発育が未熟のまま出生した乳児であって、正常児が出生時に有する諸機能を得るに至るまでのもの)であって、医師が入院医療を必要と認めたもの。		意図	医療費の給付を行うことにより、経済的な負担を軽減し、安心して医療が受けられるようにする。				手段	養育医療給付申請の受理、審査、養育医療券の発行。国・県に申請書や請求書の審査依頼。養育医療費の支払い。				
		受給者数	平成24年度		平成25年度	単位	1人あたり養育医療費	平成24年度		平成25年度	単位	養育医療費	平成24年度	平成25年度
				9	人				33	千円			296	千円
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加		成果 向上 維持 低下	
	全体総括	養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成に寄与できている。				今後の改革改善案	特になし				課題とその解決策	特になし		

03-04-000011				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 10,000,000円							
子育て家庭住宅新築補助金事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費					
事業概要	対象	中学生までの子を養育する方、または妊婦がいる世帯の方町内に住所のある方(転入予定の方は、新築後6ヶ月以内に転入出来る方)新築後、町内に3年以上居住する方。町民税等に滞納がない方		意図	子育て家庭の住環境の整備を推進し、定住を促進する。				手段	12月より事業開始。広報、回覧等により周知。2件の申請に対応。					
		中学生以下児童数(4/1時点)	平成24年度		平成25年度	単位	出産や子育てに経済的な不安を感じている町民の割合	平成24年度		平成25年度	単位	補助金申請件数	平成24年度	平成25年度	単位
		2,130		2,072	人				83.2	81.4	%		2	15	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加		成果 向上 維持 低下		
	全体総括	事業2年目だったが、消費税増税前もあり、予想より申請が多かった。ただし、年度末にきて家が完成しないケースが5件あり繰り越すことになった。				今後の改革改善案	繰り越した件数が多く、支払方法や申請時期など見直し余地はある。				課題とその解決策	制度開始から時期が短く、制度を変えることが、住民にとって理解しづらくなることが考えられる。			

03-04-000012				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 円							
保育所3歳未満児保育料軽減事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費					
事業概要	対象	保育園に入園している3歳未満児とその保護者		意図	保育料を軽減することで、保護者の経済的負担が少なくなり、子育てしやすい環境が形成される。				手段	3歳未満児の保育料について、3,000円を限度として同一階層の以上児と同額に軽減した。					
		保育園に通う3歳未満児数	平成24年度		平成25年度	単位	保育料が軽減された園児数	平成24年度		平成25年度	単位	保育料軽減事業の対象になる保育園	平成24年度	平成25年度	単位
		89		117	人				117	117	人		10	8	箇所
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加		成果 向上 維持 低下		
	全体総括	適正に補助金の申請業務を行った。				今後の改革改善案	県負担100%の事業であり、かつ3歳未満の児童を持つ保護者にとって経済的負担を軽減している事業でもあり、また町の施策にも合致しており継続する。				課題とその解決策	特に改革・改善は行っていない。			

03 子育て支援の充実

03-04-000013 私立幼稚園保育料軽減事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		1,195,000円		
予算科目 会計 一般会計				款 10教育費		項 5幼稚園費		目 1幼稚園総務費				
事業概要	対象	町内の私立幼稚園			意図	保護者の経済的負担が軽減されるので、園児が増える。			手段	補助要綱の作成、交付申請、交付指令書の通知、補助金の支払い、実績報告書依頼		
	園児数(月平均)	平成24年度	平成25年度	単位		私立幼稚園の対前年比入園率	平成24年度	平成25年度		単位	補助金交付額	平成24年度
			26	19	人		74.2	73	%	1,580	1,195	千円
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	
	全体総括		本事業の実施は、私立幼稚園就園児のいる家庭への支援に結びついている。旧水上地区には公立幼稚園がないため、町内全体の平等性を考えると、必要な補助事業といえる。			今後の改革改善案		次年度も事業を継続していく必要がある。また、27年度からの新制度移行に伴い、事業の見直しを検討していく必要がある。		課題とその解決策		新制度に向けて、利用者負担の見直しがあるが、就園奨励費に加え、この補助事業の負担割合を施設型給付費に反映させて、利用者負担を検討する必要がある。26年度の会議等で話し合いを持ち、町内私立幼稚園の理解を得ながら、進めていくようにする。

03-04-000014 幼稚園就園奨励費補助事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		2,546,700円		
予算科目 会計 一般会計				款 10教育費		項 5幼稚園費		目 1幼稚園総務費				
事業概要	対象	町内に住所をおく、公・私立幼稚園に就園している園児の保護者			意図	幼稚園への就園機会の確保・私立幼稚園園間における保護者負担の格差是正			手段	条規規則の改正、対象者の把握や確認、必要書類の作成・配布・回収・提出、補助金の申請・支給・実績報告書作成や提出		
	町内の公立幼稚園に通園している園児数	平成24年度	平成25年度	単位		幼稚園対象年齢の幼稚園就園率	平成24年度	平成25年度		単位	申請数	平成24年度
			161	139	人		50	47	%	54	40	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	
	全体総括		本事業の実施は、幼稚園就園児のいる家庭への経済的支援に結びついている。しかし、年々、私立幼稚園や第2、第3子以降の保護者負担の軽減による国庫の補助単価が引き上げられたり、対象を拡大しているため、町の負担額は増加する傾向にある。			今後の改革改善案		・申請に際して、幼稚園や対象者に分かりやすい通知案内をする。・平成26年度は27年度からの新制度施設型給付に対応するため、利用者負を検討する必要がある。		課題とその解決策		・子育て新制度へ移行すると、私立幼稚園は就園奨励費と施設型給付費を選択できる。町では両方の制度の事業を行う必要がでてくるため、事務が複雑になることが予想される。対象者の保護者へも複雑な制度をわかりやすく案内するための対策を検討する必要がある。

03-05-000001 第三保育園管理運営事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費		2,502,541円		
予算科目 会計 一般会計				款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費				
事業概要	対象	園児とその保護者			意図	保育活動を通して園での生活を楽しみ、心身共に健康で心豊かな園児を育てる。園行事等を通じて保護者との信頼関係を深める。			手段	・通常保育及び施設の維持管理・園行事の計画及び実施・保護者会との連携		
	園児数	平成24年度	平成25年度	単位		園生活を楽しんでいる子どもの割合	平成24年度	平成25年度		単位	保育日数	平成24年度
			5	2	人				%	293	293	日
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	
	全体総括		子供たちもケガや事故も無く、元気で伸び伸び生活しており、保護者との関係も、日々情報の交換を密にし、保育園活動に様々な協力を仰ぎ、相互理解が成されていると思う。しかし、地区の出生数が減少するなかで26年度の園児募集結果が0件で、在園児も卒園することで次年度は休園となる。			今後の改革改善案		園児数は2名であるが、きめ細かな保育を実践しているため内容は充実している。保護者との信頼関係も築けている。しかし、地区の出生数が減少するなかで26年度の園児募集結果が0件で、在園児も卒園することで次年度は休園となる。県への休園届期間は年間として届け出した。また、施設管理については予算を計上して継続して行う。		課題とその解決策		藤原地区の地理的条件を考えると町立保育園として存続したいが、申込者がなければ休園するしかない。将来的にも出生状況を見ると保育園に入園する可能性は極めて厳しい状況にある。

03 子育て支援の充実

03-05-000002				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 47,765,052円					
にいほりこども園管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費			
事業概要	対象	・保護者の就労や病気等により保育に欠ける児童及び保護者・就学前の園児とその保護者・施設全般・地域住民			意図	・心身共に健康で心豊かな幼児を育てる。・乳幼児保育、幼児教育を理解してもらい子育てを応援する。・幼児とその保護者、地域住民に安全で充実した教育、保育の場が提供できる。・安全な保育、給食等の実施のため、施設、設備の改善、充実を図る。			手段	・通常保育では対応しきれない保護者のニーズに合わせた保育と延長保育の実施。・行事や地域の施設、人材を活用した保育の実施。・こども園としての教育、保育環境の充実を図るための修繕・改修・園舎内外の維持管理			
	保育に欠ける園児	平成24年度	平成25年度	単位		園生活を楽しんでいる子どもの割合	平成24年度	平成25年度		単位	開園日数	平成24年度	平成25年度
		68	63	人数		95.16	99.14	%		298	293	日	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×			
全体総括	・子育て支援の充実のために今後も研修を重ね、見直し改善を図る。・26年度以降の現状を把握。(園児数)・環境整備については今後も経費削減に努め職員と保護者による奉仕作業を実施していく。				今後の改革改善案	当事業の主なものは保育サービスを提供する職員の人件費なのでこども園運営に関しては今後の入園児童の推移を把握し職員数を管理していく必要がある。・地域を巻き込んだ食育の取り組み。				課題とその解決策	保育サービスの精査、効率性などを考慮していく必要がある。・こども園の多様化が求められている現状や児童福祉法の観点から考察すると、現状の自園調理における完全給食の実施は妥当であると考えられる。		

03-05-000003				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 0円					
月夜野地区こども園開設準備事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費			
事業概要	対象	0歳から就学前までの児童とその保護者			意図	子どもを安心して預けられる環境が整備され待機児童が解消される。			手段	議会に教育環境特別委員会が設置され、こども園建設に向けて委員会を開催した。主に建設方法(公設・民設)の協議、月夜野保育園に運営を打診、委員会案として旧月夜野一中跡に建設候補地を決定する。また、委員と保育園理事・職員と合同で先進地への視察研修を実施した。			
	保育園に入園を希望した児童数	平成24年度	平成25年度	単位		第1希望の保育園に入園できた人数	平成24年度	平成25年度		単位	委員会開催数	平成24年度	平成25年度
		124	125	人		120	119	人		7	5	回	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×			
全体総括	経年に亘り、議会特別委員会が審議されてきた、月夜野地区の幼保一体化計画について、最終報告がなされ、それを受けて町の方向性も決定された。27年度本格施行予定の「子ども・子育て新制度」における幼保連携型認定こども園の開園と待機児童の解消を目的とした場合、年度末ではあれ、町の方向性が決定されたことは、大きな前進であると考えられる。今後、様々な課題を解決し、予定通りのスキームで開園を迎えたい。				今後の改革改善案	基本的に、民設民営であることを三峰会に理解してもらい、全てにおいて、町任せという性質を改善することが、開園を迎えた暁にベストな運営に繋がると考える。児童福祉法の改正による、認定こども園建設に対する交付金を活用し、できる限り町財政の負担をイニシャル・ランニング共に減らす方針を目指していく。				課題とその解決策	昭和54年の月夜野保育園開園に当たり、公設か民設かの論議があり、理由は不明だが、民設を選択し、三峰会は月夜野町が作った法人であることは事実である。しかし、①と同様になるが、こども園を運営する三峰会の意識を変えてもらうこと、その方策については、デリケートな部分であるので、慎重に考えたい。		

03-05-000004				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 56,940円					
一時預かり保育事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費			
事業概要	対象	保育の実施対象にならないが、保育を必要としている児童を持つ保護者			意図	保護者の傷病・入院・災害・事故・育児疲れ等に伴う心理的・肉体的負担の解消で、緊急・一時的に保育が必要となる児童に対して、保育園で保育することにより、保護者の心身の負担を軽減する。			手段	児童の一時預かり事業			
	一時保育を利用した人数	平成24年度	平成25年度	単位		子育てと仕事の両立に不安を感じている町民の割合	平成24年度	平成25年度		単位	一時保育を実施する保育園の数	平成24年度	平成25年度
		76	81	人		44.4	44.3	%		1	1	カ所	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	× 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×			
全体総括	町内の待機児童が入園できるまで当該制度を利用してもらった実績もあり、有効に機能した。利用者も対H24で5人増加した。				今後の改革改善案	要綱上は町外者の利用も可能であるが、観光客の児童をいぎなりは預かることは受託園として責任を持つことができないとの意向により、断っている現状である。町外者は「里帰り出産」に限る等要綱の見直しが必要か検討する。				課題とその解決策	児童のいる観光客の集客を増やしたい観光事業と安心・安全な保育事業の両立ができるか検討する。		

03 子育て支援の充実

03-05-000005				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 159,646,470円				
私立保育所運営費補助事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費		
事業概要	対象	町内私立保育所		意図	国・県・町が運営費を負担することによって、保育所は運営が可能となる。				手段	運営費の支払いと国県補助金申請業務		
		町内私立保育所数	平成24年度 2 平成25年度 2 単位 園		町内私立保育所入所児童数	平成24年度 170 平成25年度 197 単位 人	運営費負担金額	平成24年度 152,446 平成25年度 158,664 単位 千円				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×	
	全体総括	保育単価並びに各種加算額を適正に把握・適用し、町内民間保育所に運営費の支出を行うことができ、健全な運営に寄与できた。			今後の改革改善案	児童福祉法に基づいた制度であり、改革や改善の余地はない。			課題とその解決策	特に改革・改善は行っていない。		

03-05-000006				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 4,869,000円				
私立保育所延長保育費補助事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費		
事業概要	対象	延長保育を受ける児童と保護者補助金を受ける民間保育所		意図	保護者が時間に余裕を持って就業でき、安心して子育てができる環境になる。				手段	民間保育所の延長保育に係る保育士人件費に対し、補助金を交付した。		
		補助金を交付された保育所数	平成24年度 1 平成25年度 1 単位 箇所		子育てと仕事の両立に不安を感じている町民の割合	平成24年度 44.4 平成25年度 44.3 単位 %	延長保育を受けた児童の数	平成24年度 6 平成25年度 4 単位 人				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×	
	全体総括	就業形態の変化に対応した延長保育制度は子育て支援に必要であるが、保育士の配置等から、延長保育に対応できない園も存在している中、月夜野保育園の協力を得て継続して事業が実施できた。			今後の改革改善案	現在月夜野保育園の30分延長のみが対象であるが、保育士の増員等でもう少し長時間の延長保育が実施できれば、保護者にとってより子育てがしやすい環境になる。また延長保育未実施の水上保育園でも、延長保育を実施できるように保育士の配置等検討してもらい充実を図る。			課題とその解決策	延長保育に対応した保育士の人件費コストを当該補助金で賄いきれない点であり、他の補助事業等を模索する。		

03-05-000007				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 2,361,050円				
私立保育所保育充実促進費補助事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費		
事業概要	対象	民間保育所に通う、家庭で保育を受けられない低年齢児(1歳)及び3歳児とその家庭		意図	保育士を定数よりも多く雇い上げることにより、担当する児童数が少なくなることで保育を手厚く豊に出来る。安心して子どもを預けることが出来る環境を整えることで、町内で子育てをする人を支援することが出来る。				手段	民間保育所に通う、家庭で保育を受けられない低年齢児(1歳)と3歳児の処遇改善。保育所の運営充実と児童福祉の向上を図るため、保育士定数を越える保育士の雇い上げ		
		民間保育所に通う1歳児の数	平成24年度 25 平成25年度 29 単位 人		1歳児及び3歳児加配保育士の数	平成24年度 2 平成25年度 2 単位 人	保育充実促進費補助金を受けている民間保育所	平成24年度 2 平成25年度 2 単位 箇所				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 〇 × ×	
	全体総括	県費1/2の補助事業であり、民間保育所の加配保育士の人件費の補助として、健全な園運営に寄与している。			今後の改革改善案	県1/2補助事業であり、低年齢児及び3歳児だけに限らない保育サービスの向上に資する事業であるため、特に改革・改善案はない。			課題とその解決策	県1/2補助事業であり、低年齢児及び3歳児だけに限らない保育サービスの向上に資する事業であるため、特に改革・改善案はない。		

03 子育て支援の充実

03-05-000008				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 0円						
私立保育所乳児受入支援事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費				
事業概要	対象	乳児を町内民間保育所に預ける保護者並びに受け入れる町内民間保育所			意図	乳児を安心して、町内民間保育所に預けられる環境を整える			手段	年度途中で乳児を受け入れた町内民間保育所の乳児数を確認し、県に補助金交付申請を行った。				
		保育所に通う乳児数	平成24年度 18	平成25年度 21		単位 人		安心して乳児を受け入れられる保育所数		平成24年度 2	平成25年度 2	単位 箇所		年度途中で民間保育所に入所した乳児数
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			
	全体総括		平成24年度をもって県の補助金を廃止し、平成25年度から別の補助事業『乳児担当保育士加配事業費補助事業』となったため廃止し、『乳児担当保育士加配事業費補助事業』として引き続き推進する。			今後の改革改善案		乳児保育の充実のために、補助金を交付することは子育てしやすい町づくりに結びつくと思われる。		課題とその解決策		県の補助金が廃止し別の補助事業を検討することですので廃止。		

03-05-000009				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 円						
民間保育園障害児保育事業費補助事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費				
事業概要	対象	民間保育所			意図	障害児に対する質の高い保育の実施が可能になる。			手段	月夜野保育園に園児(1人)が10月に特別児童扶養手当の支給対象に認定されたことに伴い、要綱に基づき、補助金を交付した。				
		障害児保育を行っている民間保育所の数	平成24年度 1	平成25年度 1		単位 園		利用者の数		平成24年度 1	平成25年度 1	単位 人		町から民間保育所への補助金
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			
	全体総括		月夜野保育園の園児が、10月に特児認定されたことに伴い、要綱に基づき補助金を交付した。障害児保育は、健常児以上の負担が掛かるので、月夜野保育園の健全な運営に寄与できた。			今後の改革改善案		みなかみ町民間保育園障害児保育事業費補助金交付要綱の改正により、補助金額を上げることにより、障害児保育の更なる充実が図れる。		課題とその解決策		現状、障害児は保育園ではなく専門施設に入所しているケースが多いが、制度上障害児を受け入れる保育園の負担が軽減されることにより、障害児を持つ保護者が保育園に入園させることに抵抗がなくなる。反面、町単独事業であるため、コストは増える可能性がある。		

03-05-000010				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 12,186,180円						
町外保育所入所(広域入所)委託事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費				
事業概要	対象	里帰り出産やみなかみ町以外に就労している等の理由により、家庭で保育できないため、町外の保育所に児童を入所させたい家庭とその児童			意図	・町外に職場を持つ保護者が、職場に近い他市町村の保育所で子どもを保育してもらえ、突発的な状況にも短時間で対応できる。・安心して子どもを預けることができる環境を整え、町内で子育てをする人を支援する。			手段	家庭で保育を受けられない児童の他市町村の保育所に委託協議により他市町村での保育の実施。委託料の支出。				
		広域入所を希望する児童の数	平成24年度 14	平成25年度 14		単位 人		子育てと仕事の両立に不安を感じている町民の割合		平成24年度 44.4	平成25年度 44.3	単位 %		広域入所の委託を受入れる保育所の数
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			
	全体総括		委託・受託とも保護者の要望に概ね応えられた。			今後の改革改善案		就業形態の多様化により、町外の保育所への入所を希望する保護者は多いが、受入先も待機児童が存在し、必ずしも希望通りの園に入園できない状態である。時間をかけて、町内や町外の他の保育園を調整した。		課題とその解決策		受入先も自分の自治体の住民が優先であり、また広域協議事務の複雑さもあり、なるべく町内の園に入園してほしいが、町内の保育園に入園しやすい体制(待機児童を出さない等)作りが必要。		

03 子育て支援の充実

03-05-000011				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 68,890円			
園児災害共済保険加入事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費	
事業概要	対象	公立保育園並びに幼稚園の園児とその保護者		意図	万が一の事故に備えることにより、保護者が安心して児童を預けることができる				手段	共済保険掛金の徴収と負担金支払いによる保険加入事務(事故は発生しなかったため、共済金の請求はなし)	
		公立保育園並びに幼稚園の園児数	平成24年度 234 平成25年度 213 単位 人			災害共済加入者割合	平成24年度 100 平成25年度 100 単位 %			災害共済加入者数	平成24年度 234 平成25年度 213 単位 人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × ×						
	全体総括	現状のまま事務を行い、町負担割合についても特に問題がないため、現状維持する。		今後の改革改善案	現状のまま事務を行う。各幼稚園・保育園では安全管理を徹底ができたため、平成25年度も事故が特になかったため、継続した安全管理を行い、事故のないよう保育を行っていく。		課題とその解決策	請求事務がでないよう、児童の安全に各園が注意する。引き続き、共済加入に全員が同意するよう、理解を求める。			

03-05-000012				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 1,387,739円			
保育料賦課徴収事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費	
事業概要	対象	保育園児の保護者		意図	町民税の課税や所得税額に応じて階層が定められた保育料を納入する。				手段	口座引き落とし分と現金納付分に分け、毎月請求を行った。なお、滞納者には督促並びにこども手当現金支給の同意をとりつけ、保育料への充当を促した。	
		保育園児数	平成24年度 276 平成25年度 274 単位 人			保育料徴収率	平成24年度 96.9 平成25年度 97.1 単位 %			保育料調定額	平成24年度 39,090 平成25年度 37,854 単位 千円
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × ×						
	全体総括	適正な保育料賦課を行い、滞納者に対しては毎月文書や園で直接督促を行ってきたが、基本的に毎月納入する意思が欠落している保護者も存在する。効率的かつ効果的に滞納を無くすため児童手当現金支給、天引きによる納入の承諾等により保育料滞納解消に努めた。また、時効になった滞納は不納欠損処理を行った結果、過年度滞納繰越額を減少させた。(H24当初\1,348,500円→年度末\459,800円、H25当初\1,639,800円→年度末\446,300円)		今後の改革改善案	保育料システムは保育料賦課徴収にとどまらず、保育事務には欠かせないツールであるため、現状のシステムを活用して業務を行い、滞納整理(納入交渉・児童手当現金支給、天引きによる納入・差押え・不納欠損)を行う。		課題とその解決策	保育措置の性格上、滞納しているがために、園児を退園させることができない。滞納している保護者もペナルティがないため、堂々と滞納している状況である。差押え等、他の法律との関連やどの時期でどのような手法で行えるかを検討し、滞納整理の課題を解決しなければならぬ。			

03-05-000013				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 3,823,286円			
水上児童館管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 3民生費		項 2児童福祉費		目 5児童館費	
事業概要	対象	町内に居住する児童		意図	健全な遊びの場を与えることで児童の健全育成に繋がる。				手段	七夕飾り・お雛様作り、カレー・フルーチェ・月見団子・おもちゃ作り体験、工場見学、ひな祭り・人形劇鑑賞等の児童の遊び・体験に寄与する行事の開催。	
		対象児童数	平成24年度 1,504 平成25年度 1,410 単位 人			延べ利用者数	平成24年度 3,983 平成25年度 4,066 単位 人			児童館開館日数	平成24年度 296 平成25年度 289 単位 日
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × × ×						
	全体総括	4年生以上を対象とする学童保育の無い地域にあり、放課後や長期休暇等の児童の受け皿としての存在意義は大きい。しかし、利用者がほぼ固定している・幼児の利用は少ない等誰でも自由に遊べるという児童館としての機能についての再考や建物・備品・遊具等の補修・補充等も必要。移動児童館事業ではチラシの全長回覧により、水上地区以外からの参加者もあった。下校途中で児童館に寄る児童がほとんどだが、低学年では寄り道やけが等があったことから学校から児童館までの間が不安である。		今後の改革改善案	行事により参加者募集地区を検討し、利用者増を図る。小学校との連携を密にし、情報交換の機会を維持することで通路の安全や利用児童の把握に努める。建物や備品・遊具等を点検し、必要に応じて補修・補充等計画的に進める。(26年度はカーテンを更新予定) 保護者・町民の児童館への意見・希望等の把握に勤め、運営の改善や学童保育との関係(学童保育への移行等も含めて)等を検討してゆく。		課題とその解決策	水上地区以外の利用者が参加しやすい行事や開催場所等の検討。環境整備のための計画と予算の計上。運営受託団体等の公募等			

03 子育て支援の充実

03-05-000014		担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		5,980,400円						
月夜野学童保育事業		予算科目 会計 一般会計			款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費				
事業概要	対象	月夜野わんぱくクラブの放課後児童健全育成事業及び小学生			意図			月夜野わんぱくクラブの運営を円滑にし、放課後小学生の健全育成の推進を図る。		手段		・放課後児童健全育成事業補助金所要額調、交付申請書、実績報告書作成。・指定管理に関する事務。・委託料の支払い。・運営委員会及び指導員との連絡、調整。	
	月夜野地区小学生児童数(3年生以下)	平成24年度	平成25年度	単位	実利用延べ人数(年間)	平成24年度	平成25年度	単位	補助金額	平成24年度	平成25年度	単位	
		215	200	人		11,205	10,743	人		3,696	3,953	千円	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト		削減 維持 増加		成果		向上 維持 低下	
	全体総括	民間の活用により事業を行っており、運営も順調。子育て支援の充実のため、今後も現在の状況での事業を継続していく必要がある。			今後の改革改善案	指定管理制度を導入し、民間が持っているノウハウを生かした学童保育事業が期待される。障害児の受入が消極的にならないよう、町でサポートを続ける必要がある。			課題とその解決策	クラブの入会児童数が多いので、複数の障害児の受入が困難である。障害児受入の際には、専門的な指導員の配置を補助するよう、町が予算を確保する必要がある。			

03-05-000015		担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		2,059,000円						
水上学童保育事業		予算科目 会計 一般会計			款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費				
事業概要	対象	放課後、家庭で面倒をみられない小学生			意図			放課後児童健全育成の推進とクラブの運営の円滑化を図る		手段		①委託契約の締結②運営状況・事業内容に関する調査・確認③クラブとの連絡調整、委託料の支払い事務④県費補助金を申請する	
	水上小学校児童数(3年生以下)	平成24年度	平成25年度	単位	クラブ実利用延べ人数(年間)	平成24年度	平成25年度	単位	補助金収入額	平成24年度	平成25年度	単位	
			72	人			3,661	人			1,373	千円	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト		削減 維持 増加		成果		向上 維持 低下	
	全体総括	民間を活用した事業を行っており、子育て支援の充実のため、今後も事業を継続していく必要がある。民間でもできるものは民間に事業をお願いしていくという方針が町にあるため、水上地区の放課後児童健全育成事業を担う受け皿を守る必要がある。			今後の改革改善案	町が運営を助成していくため、クラブへ開所時間の延長や開所日の増加を求めていく。			課題とその解決策	民間の学童クラブは就学前児童の通園施設のことも園施設と併設されているので、長期休業中の開所が困難であるといった意見があった。保育の実施方法や人材の確保等、町で支援し、開所の実現を依頼していく必要がある。			

03-05-000016		担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		10,407,790円						
新治学童保育事業		予算科目 会計 一般会計			款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費				
事業概要	対象	保護者が昼間、仕事等で家庭にいない世帯で、入所を希望する新治小学校児童及びその保護者。			意図			放課後、児童の適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。		手段		・小学校児童8~28名を放課後及び土曜日、長期休業中などに学童クラブで預かる。年間開設日数268日。・クラブの施設管理・保育料徴収・補助金の申請等	
	在籍児童数	平成24年度	平成25年度	単位	実利用延べ児童数	平成24年度	平成25年度	単位	在籍児童数	平成24年度	平成25年度	単位	
		15	11	人		2,612	2,423	人		15	11	人	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	コスト		削減 維持 増加		成果		向上 維持 低下	
	全体総括	クラブ利用者は年々減っているが、夏休みなどは1日25人以上の利用があり、共働き世帯には必要とされる事業となっている。管理運営の委託を検討する必要があるが、経費を算出した場合、登録児童数による補助金や保育料で委託料をまかなえず、サービスを下げず、経費を節減することが難しい。			今後の改革改善案	事業の効率性を考えると、学童保育に関係のある団体に管理・運営を委託する方向性を探る必要がある。子育て新法により、市町村で学童クラブの基準を定めることになる。町内のクラブの現状などを確認し、次年度に検討することが必要。			課題とその解決策	指導員の保育能力向上のために、研修会等に積極的に参加する。隣接する小学校内に転載できないか、学校や教育委員会と協議を行ったが、ここ2~3年は空き教室等が見込めないという回答があった。しかし、将来的には校舎内転載を視野にいれ、管理を行う必要がある。			

03 子育て支援の充実

03-05-000017				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 8,489,924円					
月夜野幼稚園管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 5幼稚園費		目 2幼稚園費			
事業概要	対象	○幼稚園在園児、未就園児とその保護者			意図	○園生活を十分に楽しみ、心身共に健康で心豊かな 幼児を育てる。○幼児教育を理解し、安心して 幼児を預け、子育て・PTA活動を応援する。			手段	○園児の教育環境の充実・整備・安全管理 ○預かり保育の実施○3歳児からの就学前の幼児教育 ○園舎内外の維持管理 ○保護者との連携 ○PTA活動			
		幼稚園児・保護者	平成24年度	平成25年度		単位	楽しんで幼稚園生活を 送っている幼児の割合	平成24年度		平成25年度	単位	行事(親子・幼児)	平成24年度
廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト		削減 維持 増加	
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 ○ 維持 × 低下 ×	
全体的方向性		○日常の幼稚園教育は職員一丸となり、目標に向かって取り組んでいる。今後も保護者の意見を聞いたり反省評価をしたりしながら、改善に努める。○職員の資質向上と教育の充実を図ると共に、安全管理を徹底させ、保護者の信頼を得るように努める。			○旧月夜野地区3園を統合し、1園とすることが望ましいと考える。			課題とその解決策		○地域住民や保護者の理解を得られるか。○保護者との意見交換の場を設け、検討期間を十分に確保する。			

03-05-000018				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 2,734,246円					
月夜野幼稚園下牧分園管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 5幼稚園費		目 2幼稚園費			
事業概要	対象	○幼稚園在園児、未就園児とその保護者			意図	○心身共に健康で心豊かな幼児を育てる。○幼児教育を理解してもらい、子育て、PTA活動を応援する。			手段	○園の教育環境の充実、整備、安全管理 ○園舎内外の維持管理○3歳児からの就学前の幼児教育 ○保護者との連携 ○PTA活動			
		幼稚園児・保護者	平成24年度	平成25年度		単位	心身共に健康で心豊かな幼児に育っている割合	平成24年度		平成25年度	単位	行事(幼児・保護者)	平成24年度
廃止・休止等		× 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト		削減 維持 増加	
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 ○ 維持 × 低下 ×	
全体的方向性		○日常の幼稚園教育は職員一丸となり、目標に向かって取り組んでいる。今後も、保護者の意見を聞いたり、反省評価をしたりしながら改善に努める。○職員の資質向上と教育の充実を図ると共に、安全管理を徹底させ、保護者の信頼を得るように努める。○今後の就園予定児の把握・確認をする。			○旧月夜野地区3園を統合し、1園とすることが望ましいと考える。			課題とその解決策		○地域住民や保護者の理解を得られるか。○保護者との意見交換の場を設け、検討期間を十分に確保する。			

03-05-000019				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ				事業費 2,393,024円					
月夜野北幼稚園管理運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 10教育費		項 5幼稚園費		目 2幼稚園費			
事業概要	対象	○幼稚園在園児、未就園児とその保護者			意図	○園生活を十分に楽しみ心身共に健康で心豊かな幼 児を育てる。○幼児教育を理解してもらい、 子育て、PTA活 動を応援する。			手段	○園の教育環境の充実、整備、安全管理。○園舎内外の維持管理。○3歳児からの就学前の幼児教育。 ○保護者との連携。 ○PTA活動。			
		幼稚園児・保護者	平成24年度	平成25年度		単位	楽しんで幼稚園生活を 送っている割合	平成24年度		平成25年度	単位	行事(親子・幼児)	平成24年度
廃止・休止等		× 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト		削減 維持 増加	
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		成果 向上 ○ 維持 × 低下 ×	
全体的方向性		○日常の幼稚園教育は職員一丸となり、目標に向かって取り組んでいる。今後も、保護者の意見を聞いたり、反省評価をしたりしながら、改善に努める。○職員の資質向上と教育の充実を図ると共に、安全管理を徹底させ、保護者の信頼を得るように努める。○今後の就園予定児の把握・確認をする。			○旧月夜野地区3園を統合し、1園とすることが望ましいと考える。			課題とその解決策		○地域住民や保護者の理解を得られるか。○保護者との意見交換の場を設け、検討期間を十分に確保する。			

03 子育て支援の充実

03-05-000020 ファミリー・サポート・センター事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		530,907円			
予算科目 会計 一般会計				款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費				
事業概要	対象	育児支援を必要とする保護者とその子ども。または、育児支援を行いたいと思っている住民。		意図	会員同士で相互援助活動をする事で、育児負担が軽減され、育児と仕事の両立が容易になり、地域住民が子育て支援に参加し、地域全体で子育ての支援を行う事の重要性に対する理解が深まる。			手段	町広報・チラシ配布・各種会合等での説明により周知、会員募集、年度内に2回の講習会を開催し、活動可能な会員を養成する。フォローアップ講習会を開催し、会員の知識・技術の向上を図る。交流会を開催し、会員同士の情報交換・親睦を深め、利用促進・活動の活発化を図る。			
	3ヶ月～小学6年生の保護者	平成24年度	平成25年度		単位	まかせて・どっちも会員数	平成24年度		平成25年度	単位	延べ利用者数	平成24年度
廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
全体総括				今後の改革改善案			課題とその解決策					
会員数は少ないが、ファミリー・サポート・センターを開設し、年2回の会員養成講習会を開催できた。当初目標の10月より、相互援助活動も開始したが、まかせて会員が少なく調整できなかったため、さらに任せて会員の募集・養成が必要である。おねがい会員は、利用する予定はないがとりあえず登録しておく方が多いが、保育園利用者等でファミリー・サポート・センターを理解されていない等潜在的な需要はあると思われるため、広報や幼・保・こども園等とも連携し、利用を促進する。				会員数を増やし、相互援助活動を活発化出来るよう、広報活動や会員募集・養成・講習会、会員交流会等を実施してゆく。			チラシ配布やHPでの広報だけでなく、会員からの口コミ等で広がるよう交流会・講習会等を行ってゆく。					

03-05-000021 病後児保育事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		1,140円			
予算科目 会計 一般会計				款 3民生費		項 2児童福祉費		目 1児童福祉総務費				
事業概要	対象	1歳～小学3年生までの児童とその保護者		意図	利用する児童の安全が確保され、安心して保護者が預けることができる。			手段	事業のPRとして広報への掲載及び新入園児・新小学校入学児童の保護者に事業案内を配布する。防災カーテンの取付、保育室の修繕・清掃・備品の保守点検			
	未就学児	平成24年度	平成25年度		単位	事業利用保護者数	平成24年度		平成25年度	単位	病後児保育の開所日数	平成24年度
廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
全体総括				今後の改革改善案			課題とその解決策					
問い合わせ・利用希望は数件あり、徐々に周知されてきている。年末には1件目の利用者があり「利用できて良かった。助かった。」との言葉もあった。しかし「手続が大変」「遠くて利用できない」等の声もあるため今後も検討が必要。実際に使用して、不便な点や遊具・図書類の不足等も見られた。				利用者の声を載せる等広報に勤め、チラシの配布・他の事業との連携を進める等利用者増を図る。遊具・図書類等の補充や環境改善等予算計上を含め、計画・実行してゆく。			まだ利用者が少ないため、利用を促す方法を検討する。					

03-05-000022 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金交付事業				担当組織 子育て健康課 子育て支援グループ			事業費		2,842,485円			
予算科目 会計 一般会計				款 3民生費		項 2児童福祉費		目 4保育園費				
事業概要	対象	保育士の人材確保対策を推進するため保育士等の処遇改善を実施することで保育を手厚く豊かにし、安心して子どもを預けることができる環境を整えることにより子育てをする人を支援することができる。		意図	民間保育所に通う児童。			手段	保育士の人材確保対策を推進するため保育士等の処遇改善を実施し保育環境を整備する民間保育所に県の補助を受けるための支援。			
	保育士数	平成24年度	平成25年度		単位	4/1民間保育所に通う児童数	平成24年度		平成25年度	単位	本事業補助を受けた民間保育所	平成24年度
廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト		
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
全体総括				今後の改革改善案			課題とその解決策					
保育士の人材確保対策を推進するため保育士等の処遇改善を実施し保育環境を整備する民間保育所に県の補助を受けるために支援できた。				県の10分の10の補助事業であるので活用したい。			特に改革・改善は行っていない。					